



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

冬空の下でも元気いっぱい



(写真：水島保育所の子どもたち)



11月臨時会の概要	2	代表・一般質問	5~11
議会事務事業評価	2	委員会報告	11
12月定例会補正予算の概要	3	議会報告会	12
審議経過	3	活動報告	13
特別委員会の廃止	3	会務報告	13~14
人事案件	3	市外からの行政視察	14
議長交際費	3	次回議会日程	14
審議議案・議員別賛否状況	4	編集後記	14
12月臨時会の概要	4		

11月臨時会

11月24日に11月臨時会を開催し、議案2件が提案され、原案のとおり可決しました。

11月臨時会の審議経過

24日 全員協議会
議会運営委員会
本会議(提案理由説明・質疑・討論・表決)

総務大臣感謝状伝達

多年(議員在職35年以上)にわたり地方自治の発展に顕著な功労があったとして、総務大臣から砂田喜昭議員へ感謝状の贈呈がありました。これを受けて、11月臨時会にて吉田議長から砂田議員へ感謝状の伝達を行いました。



11月臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)	議決結果	林	竹	出	谷	山	加	義	吉	藤	白	福	中	石	嶋	沼	砂
		登	豊	和	巧	秀	幸	英	康	雅	正	正	樹	義	幸	信	喜
条例の改正 議案第40号 小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び市長等に対する給料等の支給に関する条例の一部改正について ・令和3年度人事院勧告及び県の人事委員会勧告に準じて改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は表決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 小矢部市職員の給与に関する条例及び小矢部市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について ・令和3年度人事院勧告及び県の人事委員会勧告に準じて改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年度議会事務事業評価

11月24日の全員協議会において、市議会より市当局へ議会事務事業評価の報告書を提出しました。今後、事務事業を見直す際の参考にするとともに各種施策の推進に向けて努力されるよう市当局に求めました。

総務産業建設常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	令和2年度決算額	委員会評価
ふるさとおやべ応援事業	55,714	ふるさと納税については、魅力的な返礼品の開発やブラッシュアップ、情報発信の強化など、より一層の工夫・改善に取り組むこと。また、市民を含め、市出身者や市関係者等に対して積極的にPRを行い、ふるさとおやべ応援寄附金のさらなる増額に努めること。
防災備蓄品整備事業	4,959	備蓄品については、アレルギー対応なども考慮して品揃えを整備すること。また、紙コップなど容器についても必要なものをしっかり備蓄しておくこと。
商工業振興対策事業	90,184	創業者育成のインキュベーター事業については、施設使用者の営業実態の把握や更新時の創業意向の確認を行い、市内での創業ができるよう指導・育成すること。

民生文教常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	令和2年度決算額	委員会評価
生活安全対策事業	3,398	防犯カメラ設置は、犯罪抑止に一定の効果が見込めることからより一層の制度周知を図ること。また、危険箇所の調査を行い、要望箇所と合わせて、必要な箇所に防犯カメラが設置できるよう進めること。その際には、地元負担となる設置コストや維持管理コストの軽減支援策も検討し、今後も継続的かつ効果的な予算措置と執行に努めること。
妊娠・出産包括支援事業	17,799	制度の利用申請をオンライン化するなど簡素化し、今まで以上に母子に寄り添った仕組みにアップグレードしていくこと。産後ケア事業、産後ヘルパー事業については、より気軽に利用できるように事業の具体的な内容の周知に努めること。
介護予防・日常生活支援推進事業	34,941	介護予防事業については、その成果を定量的に把握し、成果に対する費用対効果の低い事業は、取り止め・見直しを行うこと。また、委託契約による事業は、成果と連動し委託料が変動する成果報酬型の委託契約に変更するなど、限られた予算で最大の成果が得られるように努めること。そして、一層の事業周知を図り、各介護予防事業へ高齢者の参加を促し、介護予防を推進していくこと。
総合保健福祉センター改修事業	17,124	センターの修繕については、小まめな点検・管理を行うことで経費を必要最小限に抑えるよう努めること。子育て世代包括支援センターについては、施設改修により子育て支援の強化にどの程度つながったのか、経過をしっかりと注視すること。今後の施設機能の見直しや社会ニーズの変化への対応は、効果的な予算執行が求められることから、議論を重ねた上で検討を進めること。

12月定例会

12月3日から17日までの15日間を会期として12月定例会を開会しました。

12月定例会では、令和3年度小矢部市一般会計補正予算や条例の一部改正、小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意についてなど議案6件が提案され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

また、初日には9月定例会で継続審査となっていた令和2年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び令和2年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など議案8件について、それぞれ原案のとおり可決・認定しました。

◎ 12月定例会補正予算の概要

議案第42号 令和3年度小矢部市一般会計補正予算（第6号）

補正額 4億6,036.4万円 累計予算額 143億9,871.7万円

《主な事業》

- 指定管理施設支援事業費並びに森林総合利用施設管理費 210 万円
公共施設の休館に伴う協力金の支給
- 老人福祉対策費 700 万円
介護施設等におけるゾーニング環境の整備経費に対する補助金の支給
- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費 1億9,648.6万円
高校生等までの子供がいる世帯に対する臨時特別給付金の支給
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 1億4,200 万円
新型コロナウイルスワクチンの3回目接種実施に係る経費
- 定住促進対策事業費 2,373.5万円
定住促進住宅取得助成金等の助成件数の増加によるもの

議案第43号 令和3年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

補正額 4,162 万円 累計予算額 29億3,085.9万円

《主な内容》

国民健康保険システム改修費並びに保険給付費、決算の確定に伴う償還金の増額

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

12月定例会の 審議経過

3日	本会議（提案理由説明） （会期15日間）
6日	全員協議会
7日	議案調査日
8日	議案調査日
9日	議会運営委員会
10日	本会議（代表・一般質問）
13日	地域活性化特別委員会
14日	民生文教常任委員会
14日	公共施設再編特別委員会
15日	総務産業建設常任委員会
15日	議会改革協議会
16日	議案調査日
17日	議会運営委員会 委員長会議 全員協議会 本会議（質疑・討論・表決他）

特別委員会の廃止

令和2年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分についてなど8議案の審査が終了したため、決算特別委員会を廃止しました。

人事案件

◎小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意
石尾 博美 氏（小矢部町）

令和3年度 議長交際費支出内訳表

令和3年4月～令和3年12月（単位：円）

区分	件数	金額	備考
1 慶弔・見舞費	9	184,630	
① 御祝・寸志	3	42,300	祝賀会、記念行事、大会祝い金等
② 激励金	3	111,000	全国大会出場激励金等
③ 見舞・香典	3	31,330	香典、生花等
2 協賛費	5	24,720	各種協賛費等
3 会費・懇談会費	1	29,160	各種団体との会議、懇親会費等
4 その他	16	129,254	訪問時・来客時記念品、お土産等
合計	31	367,764	
令和3年度予算額		1,100,000	
執行率		33.43%	

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

12月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)			議決結果	林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭			
その他	議案第38号	令和2年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
決算認定	認定第1号	令和2年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×		
	認定第2号	令和2年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定第3号	令和2年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×		
	認定第4号	令和2年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×		
	認定第5号	令和2年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定第6号	令和2年度小矢部市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定第7号	令和2年度小矢部市下水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
補正予算	議案第42号	令和3年度小矢部市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議長は表決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第43号	令和3年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) (補正予算の概要は3ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の改正	議案第44号	小矢部市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について ・地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等を定める省令の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	小矢部市営駐車場条例の一部改正について ・石動駅周辺駐車場の月間使用の運用について、石動駅前駐車場と石動駅南第1駐車場において同一料金体系を導入するため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	小矢部市国民健康保険条例の一部改正について ・健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意第4号	小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について (人事案件の概要は3ページを参照ください)	同意	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	議員提出議案第4号	最低賃金の引き上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書 (内容については小矢部市議会ホームページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎ 12月臨時会補正予算の概要

議案第47号 令和3年度小矢部市一般会計補正予算(第7号)
補正額 4億7,105.9万円 累計予算額 148億6,977.6万円

《主な事業》

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費 2億7,823.5万円
住民税非課税世帯や家計急変世帯に対する臨時特別給付金の支給
- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費 1億9,282.4万円
高校生等までの子供がいる世帯に対する臨時特別給付金の支給

22日 全員協議会
議会運営委員会
本会議(提案理由説明・質疑・討論・表決)

12月臨時会の
審議経過

12月22日に12月臨時会を開催しました。議案1件が提案され、原案のとおり可決しました。

12月臨時会

12月臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)			議決結果	林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭		
補正予算	議案第47号	令和3年度小矢部市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ◎令和4年度小矢部市予算編成方針について
- ◎DX（デジタル改革）加速、グリーン社会の実現
- ◎コロナウイルス感染症対策について
- ◎小矢部市の最重要課題について



会派「誠流」
藤本 雅明 議員



▼動画配信中

【質問】 令和4年度の予算編成に当たって、コロナ禍である令和4年度の税収見込み、今後の実質公債費比率、将来負担比率はどのように推移するのかわかるか。

【市長】 令和3年度の当初予算比では、市税全体で4%程度増加すると見込んでいる。推計ではあるが、実質公債費比率は、令和4年度は15%前後と見込み、令和5年度にピークを迎え、その後数年間は高い水準で推移をするが、さらにその後には低下していくと見込んでいる。また、

将来負担比率は、令和4年度は18%前後と見込んでおり、令和2年度決算数値19%をピークに、令和3年度以降は徐々に低下していくものと考えている。

【質問】 重点事業推進枠を五つ設けているが、設定した根拠について聞かう。

【市長】 「自治体DXの加速、グリーン社会の実現関連事業」、「安全・安心な暮らしの実現関連事業」、「本市への新たな人の流れの強化に向けた地方創生推進事業」、「公共施設の長寿命

化対策や適正配置関連事業」は、国が令和4年度の地方財政の課題としていることを本市の重点事業として設定した。また、令和4年度に本市が市制施行60周年を迎えることから、「市制施行60周年記念関連事業」を加え、五つの推進枠を設定した。

【質問】 「新たな財源の発掘に取り組む」とあるが、具体的にどのように取り組むのか。

【市長】 ふるさと納税の拡大に向けた取り組みとして、寄附額の多寡を見極め、有効なポータルサイトの選択に向けた検討を現在進めている。また、企業版ふるさと納税の拡大や新たな施設命名権の販売に向けて、企業訪問などの機会を捉えて、私自身がトップセールスを行うなど、職員と一丸となって積極的に取り組んでいきたい。

【質問】 デジタル変革の内容と今後の進め方について聞かう。

【市長】 主に住民がマイナンバーカードを用いて申請を行うことが想定される子育てに関する15の

など、国が運営するオンラインサービスのマイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン申請が可能となるよう連携して取り組んでいる。また、行政手続でオンライン化が可能57の手続についても、令和7年度末までに全ての手続をオンライン化できるように、庁内全体で取り組んでいる。

【質問】 2050年カーボンニュートラルに向けた小矢部市の取り組みについて聞かう。

【市長】 再生可能エネルギーによって日常で消費するエネルギーを確保していくというグリーン社会の実現が求められていることを踏まえ、本市においても2050年までにカーボンニュートラルを実現するため、今後策定予定の「小矢部市地球温暖化対策実行計画区域施策編」にて具体的な方向性を示したい。また、議会からも積極的に取り組むよう言われていることから、本日この場で小矢部市ゼロカーボンシティ宣言をさせていただきます。

【質問】 第3回目のワクチン接種について聞かう。

【市長】 ワクチンの住民接種については、最も早く2回目接種が完了した時期が6月5日であり、その8か月経過後の令和4年2月5日以降に3回目接種が可能となる。現時点における基本的な方針として、先行して市内医療機関での個別接種を来年2月14日から始める予定であり、集団接種も3月中旬以降に開始する予定である。

【質問】 小矢部市の最重要課題について聞かう。

【市長】 アフターコロナにおける地域経済の回復を見据えて、本市の地理的優位性を活かした物流施設を含めた企業誘致に一層積極的に取り組み、これまでも本市の最重要課題として位置づけてきた人口対策に対しても、人口減少に歯止めをかけ、税収の増につなげていきたい。



小矢部市「ゼロカーボンシティ」宣言



会派「市民報道会」
白井 しろい
中 中 中
議員 あたる



▼動画配信中

質問 国は約55兆円の経済対策を予定しているとのことだが、コロナ禍による急激な社会経済環境の変化の中、本市においても新年度に向けた新たな対策についての考えはあるか。

市長 は、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊業界全体が非常に厳しい情勢の中、新たに誘致を成就させることは決して容易ではないと認識している。他方で、市内に宿泊施設が少なくこの不便さを訴える声も多く伺っている。宿泊施設の誘致は悲願でもあり、決して諦めることなく、引き続き、粘り強く働きかけを行っていききたい。

市長 新年度の予算編成方針にてお示したように、長期化するコロナ禍から市民の生活と命を守るため、新型コロナウイルス対策をはじめとする5つの重点事業推進枠を設け、重点的に取り組むこととしている。新たな対策については、新年度予算編成作業において検討を進めているところであり、引き続き、国の補正予算における新型コロナウイルス対策や感染症対策や経済対策などの情報収集に努めるとともに、今後示される国の令和4年度地方財政対策にも注視しながら、必要となる対策や対応について検討を進めていきたい。

質問 3回目のプレミアム付商品券が市民に好評だと聞いているが、新年度も継続する予定か。

市長 正常値の範囲内とはいえ、高い水準にある財政健全化判断比率の見通し、また、市債残高や財政調整基金残高の状況を踏まえながら、計画的な財政運営に徹していく必要があると考えている。歳出面では最少の経費で最大の効果を挙げる、歳入面では幅広い視野で有効な財源の発掘に知恵を絞るなど、歳入歳出面での不断の取り組みを重ねながら、引き続き、「市債の借り入れや財政調整基金の繰り入れに頼らない予算編成」を基本方針としつつ、計画的な財政運営に努めていきたい。

市長 プレミアム付商品券事業については、売り上げの増加や新規顧客の獲得など、経済対策として効果的な施策であると認識している。新年度における事業の実施については、財源として見込まれる国の地方創生臨時交付金の動向を注視するとともに、関連団体の意見も聞きながら、検討していききたい。

質問 厳しい状況が続く本市の財政状況を踏まえ、将来を見据えた健全で持続可能な財政運営をお願いしたい。

市長 本市の3回目接種で使用するワクチンの供給見直しでは、ファイザー社ワクチンが6割程度、武田モデルナ社ワクチンが4割程度となっており、交互接種になることも想定される。市としては、国や県に対し、ワクチンの供給量、交互接種の安全性についての周知を要望するとともに、ワクチン接種事業が円滑に実施できる体制を構築していきたい。

市長 国は約55兆円の経済対策を予定しているとのことだが、コロナ禍による急激な社会経済環境の変化の中、本市においても新年度に向けた新たな対策についての考えはあるか。

市長 正常値の範囲内とはいえ、高い水準にある財政健全化判断比率の見通し、また、市債残高や財政調整基金残高の状況を踏まえながら、計画的な財政運営に徹していく必要があると考えている。歳出面では最少の経費で最大の効果を挙げる、歳入面では幅広い視野で有効な財源の発掘に知恵を絞るなど、歳入歳出面での不断の取り組みを重ねながら、引き続き、「市債の借り入れや財政調整基金の繰り入れに頼らない予算編成」を基本方針としつつ、計画的な財政運営に努めていきたい。

市長 本市の3回目接種で使用するワクチンの供給見直しでは、ファイザー社ワクチンが6割程度、武田モデルナ社ワクチンが4割程度となっており、交互接種になることも想定される。市としては、国や県に対し、ワクチンの供給量、交互接種の安全性についての周知を要望するとともに、ワクチン接種事業が円滑に実施できる体制を構築していきたい。

市長 満足度が低かった「中心市街地の活性化」、「観光の振興」、「商工業の振興」の3項目については、市民の皆様の期待が非常に大きい分野であることを改めて認識した。これらの項目については、行政だけでなく、民間の力が不可欠であることから、一朝一夕には解決が難しい課題と捉えているが、今後も機会を捉えて、関係団体等の意見に耳を傾け、粘り強く課題解決に取り組んでいきたい。

◎令和4年度の予算編成の概要・基本方針並びに本市の課題について

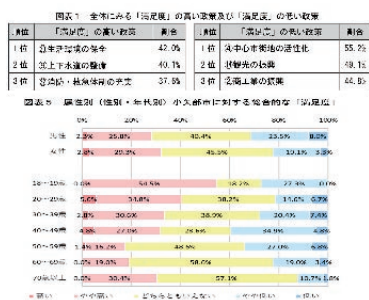
◎令和3年度市民満足度調査結果について

市長 宿泊施設の誘致について必要と考えるがどうか。

市長 必要と考えるがどうか。

市長 必要と考えるがどうか。

市長 必要と考えるがどうか。



令和3年度市民満足度調査結果 (抜粋)



竹松 豊一 議員

▼動画配信中



- ◎市民満足度調査の結果について
- ◎口腔ケアからの予防医療について
- ◎学校での働き方改革について
- ◎義仲・巴御前の大河ドラマ誘致について

【質問】 アウトレットを中心とした観光戦略の在り方と民間も含めた他市との広域連携について見解を問う。

【産業建設部長】 バス運行の積極的なアピール、広域的な周遊観光ルートの造成、アウトレットを核とした周辺観光も各団体等と連携して、誘客に努めていきたい。

【質問】 ホテル誘致やコンベンション等の大会誘致についての見解を問う。

【企画政策部長】 コロナ後を見据え、ホテル誘致は粘り強く働きかけていきたい。

【産業建設部長】 対応できる施設や補助制度もあり、他とも連携し積極的にコンベンション等を誘致していきたい。

【質問】 歯周疾患検診の対象年代拡大と妊婦歯科健診の無料化について見解を問う。

【民生部長】 歯周疾患検診の拡充は、他市の動向を注視し、今後検討する。自己負担の有無は受診率に影響しないと考えているが、妊婦歯科健診は、少子化対策でもあり、検討を重ねていきたい。

【質問】 高齢者を対象とした口腔ケアの介護予防事業についての見解を問う。

【民生部長】 口腔機能の維持向上はフレイル予防や認知機能の低下抑制に重要であるので、来年2月から「閉じこもり予防事業」に口腔機能向上の内容を盛り込む。

【質問】 学校の働き方改革の部活動について見解を問う。

【教育長】 本市でも活動方針を策定し、週2日以上休養日の設定や37人の外部人材を派遣しており、土日休日の地域移行に向けて、部活動の在り方検討委員会できりよう進めていく。

【質問】 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の義仲と巴御前の出演について見解を問う。

【産業建設部長】 今回のドラマにより、義仲・巴御前の魅力が全国に発信され、関心が高まり、今後へ弾みがつくことを期待し、大河ドラマ誘致に取り組みたい。

【質問】 高年齢者を対象とした

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

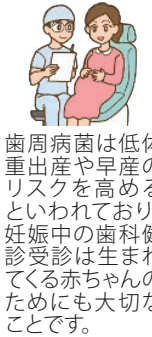
【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】



体の健康を維持するには、歯の健康も重要です。歯周疾患や歯肉炎は、歯を支える骨を溶かし、最終的には歯が抜け落ちてしまう可能性があります。また、歯周病は糖尿病や心臓病のリスクを高めるため、歯の健康は全身の健康と密接に関連しています。

一般質問



中田 正樹 議員

▼動画配信中



【質問】 加越線跡の県道370号線、通称サイクリングロードは、自動運転バスの運行に最適な道路だと思うが。

【民生部長】 富山県との協議が必要となるほか、運行に必要な道路整備も必要であり、解消すべき課題も多い。

【質問】 実現できれば、福野高校や石動高校への通学に便利で、南砺市、砺波市からの石動駅利用者増など、可能性は無限大だと考える。

【民生部長】 石動駅は交通の結節点であり、砺波市や南砺市、津沢・敷波地区等、通勤や通学、生活目的の移動での利便性は高くなる。

【質問】 来年で加越線全線開通から100年経つ。地域交通網の整備、課題解決のため、県の地域交通ビジョンとの連携を含めて、積極的に取り組んでいくべきだ。

【市長】 自動運転バスの導入について検討を始める時期が来ていると認識している。課題を整理し、必要性を含め、しっかりと検討を進めていきたい。

【質問】 ゴールドウィンと地

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】

【質問】



サイクリングロード

◎子育て支援（産前産後ケア、発達障害の早期発見、児童虐待防止等）の充実について
◎デジタル田園都市国家構想/自治体DXの推進について

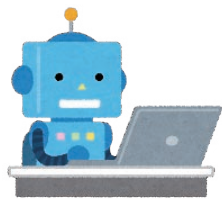


質問 児童虐待の相談件数の推移を問う。
民生部長 令和元年度が674件、令和2年度が831件、今年度は、11月末時点で599件と、増加傾向にある。

質問 発達障害やその可能性があるとされた児童生徒は何名で、全体の何%か。
教育委員会事務局長 令和元年度は91人、4.8%、令和2年度は76人、4.1%、令和3年度は97人、5.4%となっている。

質問 発達障害・児童虐待について、どのように早期発見を行っているのか。
民生部長 臨床心理士、保健師、家庭児童相談員、言葉の発達の相談を行う「ことばの教室」担当者、発達に関する相談を行う「こあら相談会」担当者が、保育所及び子ども園へ年24回程度巡回訪問を行い、気になる児童について教室での様子を確認し、発達障害の早期発見に努めている。

質問 自治体DXの重点取り組み事項の取り組み状況について問う。
総務部長 マイナンバーカ



RPAとは「Robotic Process Automation」の略で、ロボットによる業務自動化の取り組みを表す言葉です。定例的な業務をロボット(ソフトウェア)に見えさせることで、自動化し、業務を効率化することができます。

ードの普及促進に向けては、児童手当の現況届の提出において、マイナンバーカードを利用した電子申請が本格稼働した。AIは、本年12月からAI議事録作成支援システムの実証実験を開始した。RPAは、本年11月から軽自動車税をはじめとした税込納と子供・子育ての事務において、県内自治体で共同開発したRPAの仮運用を開始している。本年1月にテレワーク環境を構築し、主に子育てや介護を行う職員を対象として在宅型のテレワークを実施している。また、各課の情報推進リーダーを対象とした庁内研修を実施し、自治体DXの推進に当たつてのセキュリティ意識の向上を図った。

◎消防団員の処遇改善及び消防団の再編について
◎駅周辺整備について
◎庁舎ロビーの活用について
◎高齢者の事故対策について
◎防災訓練について



質問 消防団員の処遇改善について問う。
総務部長 本年8月に消防庁から消防団員の報酬等の基準の見直しを検討するよう通知があった。通知では、年額報酬は年額3万6千500円を標準額として各階級の報酬額を勘案すること、災害に係る出勤については1日当たり8千円とし手当から報酬に改めること、支給方法は団員個人への直接支給を徹底することなどが示された。3月定例会にて条例改正し、新年度からの実施を考えている。

質問 Aコープおよび店及びピアゴ小矢部店の存続について問う。
企画政策部長 AコープとJALライフ富山との委託契約が令和4年3月末までとのことであったので、その期限までは営業されると考えている。ピアゴ小矢部店については、閉店という話は一切聞いていない。

質問 庁舎ロビーの活用方法の一つとして小矢部園芸高校の野菜を販売できないか。
質問 庁舎ロビーの活用方法の一つとして小矢部園芸高校の野菜を販売できないか。

質問 庁舎ロビーの活用方法の一つとして小矢部園芸高校の野菜を販売できないか。



高齢者マークを車に貼りつけることは、70歳以上の高齢ドライバーの努力義務です。

市長 無人での野菜販売は、若干整理すべき課題があるが、本庁舎を含めた市内の交流施設での販売場所の確保については、積極的に協力していきたい。
質問 高齢者の事故対策としてシルバーマークを積極的に配付してもらいたい。
民生部長 高齢者の交通事故防止と高齢運転者保護意識の醸成のため周知・啓発に努めていきたい。また、高齢者マークの無料配付は、今後、関係団体と協議を行い、有効性等を含めて検討したい。
質問 防災訓練においては職員研修が大切である。
総務部長 新たな取り組みとして職員を対象とした防災訓練を来年度に実施する予定である。災害時の避難誘導や避難所開設・運営等について詳細かつ具体的な手順を確認していきたい。

◎定住支援施策について
◎SDGsと地方創生への取り組みについて



出合 和仁 議員

質問 定住施策の新たな取り組み「山手線つり革広告事業」の成果を問う。

企画政策部長 ポータルサイトの閲覧数は961件で、事業実施前と比べ、1月あたり36%増加した。うちQRコードからの閲覧数は280件で全体の約29%を占めている。また、「テレワークお試し事業」に3件の問い合わせがあり、うち1件はすでに申請をもらった。この事業は本市の知名度向上も目的としており、定住増に期待するところである。

質問 定住促進対策事業を変更した理由を問う。

企画政策部長 限られた財源の中で、長期移住に期待できる効果ある施策に絞りを絞り、転入に直接結びつかないものは廃止し、新婚に特化した制度へ変更した。

質問 財政難の中でも、投資的施策へ必要経費を投じることへの見解を企画、財政の面から問う。

企画政策部長 SNSの有効活用を含め、市民が否かを問わず、幅広い世代に魅力的

な情報を発信して、多くの小矢部ファンを獲得し、関係人口の増加を図りたい。

総務部長 人口減少は市税収入や地方交付税額に影響があるので、定住促進施策等の人口減少対策は重要課題と認識している。事業内容を検証し、メリハリある予算編成を行っていききたい。

質問 愛媛県西条市のようわかりやすい移住ポータルサイトと各課が連携した施策が必要ではないか。

企画政策部長 サイトの再点検とわかりやすい情報提供に努め、西条市など他市の取り組みを参考に、定住促進に取り組みでいきたい。

質問 本市のSDGsへの取り組みについて問う。

副市長 第2期おやベルネス計画と関連づけ、目標をしっかりと意識しながら取り組み、今後も関係団体と連携し、その推進に結びつく機会を設けていきたい。



一般質問

◎稲葉山の牧野経営と中長期ビジョンについて
◎デジタル化とマイナンバーカードの普及促進について
◎石動駅の賑わいと課題について



加藤 幸雄 議員

質問 稲葉山牧野の経営状況について問う。

産業建設部長 令和2年度の収支状況では、収入は1億46万3千円、管理運営費と人件費を合わせた支出は1億1千257万5千円で、差し引き1千211万2千円が一般財源負担である。経営の安定化を図るため、飼養頭数の増加と肉用牛の肉質等級維持等による効率化や支出の圧縮で収益を確保し、事業の自立を目指す。

質問 稲葉山中長期ビジョンについて、規模拡大より観光牧場を目指すべきではないか。

産業建設部長 今後、第7次総合計画に基づき令和5年度までに施設の整備及び集約の財源、施設の規模、実施年次について精査検討していく。

質問 デジタル化への見解について問う。

総務部長 国は昨年12月に基本方針を決定した。デジタル技術の活用により市民の利便性の向上、AIやRPAなどの導入により業務

の効率化を図り、行政サービスの向上につなげたい。

質問 マイナンバーカード取得の促進策について問う。

民生部長 本市のマイナンバーカードの交付率は、約38%で全国及び県の交付率を下回っている。啓発活動として3千円分の商品券進呈事業、窓口開設時間の延長、日曜日や津沢コミュニティプラザでの窓口開設等に加え、農業祭などでの出張申請受付等を実施している。また、組織人員体制も拡充した。今後の予定として県や他市と共同した出張申請受付を企画している。

質問 石動駅北口の基本構想策定への考えを問う。

企画政策部長 駅北地区にどのような施設が必要とされ、誘致すべきなのか、市民ニーズを適切に捉えながら、市が主体となり責任をもって策定すべきと考える。



石動駅北口

◎高校生通学状況について
◎屋敷林処理について



山室 秀隆 議員



▼動画配信中

質問 石動高校の生徒との意見交換会で、通学路の市道上野高等学校線の上り坂を拡げてほしいと意見があった。学生時代に利用されていた市長の考えを問う。

質問 今年度購入した2台の剪定枝処理機の利用状況と利用者の声を問う。

市長 通学に係る危険性は十分認識している。このため県道改良にあわせて一部交差点を改良した。全線の拡幅は地元からも要望されているが、住宅が密集していることから現状での早期整備着手は困難と考えている。今後も引き続き本路線の整備について検討したい。

質問 市内3校の高校生の7割が市外出身者で大きな交流・関係人口が発生している状況で、高校生からは「恋人が集うスポットが少ない」との意見があったが、駅周辺に喫茶店やフードコート等を設置できないか。

民生部長 11月末までに延べ30件の利用があった。約1.7トンがチップ化され、雑草の防止材や堆肥の原材料として再利用された。また、多くの利用者からは「使いやすい、また利用したい」との感想が8件あった一方で、現行能力より太い枝を処理できる機械や破砕力の高い機械導入を希望する意見が17件もあり、現在、能力向上に向けた対策の検討を進めている。

質問 剪定枝処理について今後の対応を問う。

市長 高岡市や氷見市と構成するごみ処理業務を行う組合でも共通の課題と認識していることから、今後、この枠組みやスケールメリットを活かした広域的な取り組みについて検討したい。



剪定枝処理機

◎原油高の影響について
◎太陽光発電について
◎図書館運営について



石田 義弘 議員



▼動画配信中

質問 生活弱者世帯限定のプレミアム商品券を発行するという支援はできないか。

質問 図書館の利用促進のため、今後どのような取り組みを実施していくのか。

民生部長 国の経済対策として住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給などが予定されているので、現時点では生活弱者世帯限定プレミアム商品券の発行を含めた本市独自の生活支援策は考えていないが、今後の動向を注視し、必要に応じて、適切な対策等を検討していきたい。

質問 農業版プレミアム商品券発行を検討してほしい。

産業建設部長 農業版プレミアム商品券をはじめとする農業者への緊急的な支援や融資は、引き続き国や県の動向を注視し、情報収集に努め、本市独自の対策実施を視野に入れながら、農業生産全般に対する支援となるよう検討していきたい。

質問 市内の太陽光発電の設置状況及び普及率を問う。

民生部長 個人宅及び個人以外の営業用太陽光発電の設置状況と普及率を市で把握することはできないが、



図書館探検隊事業の様子

経済産業省が公表する市町村別のFIT制度に認定された再生可能エネルギー設備の導入件数及び導入容量は、令和3年6月末現在、太陽光発電設備は665件、導入容量は2万5千184キロワットとなっている。

質問 図書館の利用促進のため、今後どのような取り組みを実施していくのか。

教育長 子供のうちから読書に親しむ環境を整えることが、将来にわたる読書活動の支えになると考えており、子供たちが自主的に読書活動を行えるよう「園児の招待事業」や「小学校1年生の図書館探検隊事業」は、市独自の取り組みとして今後も推進していきたい。また、読書を通じたイベント開催を充実させるなど、より幅広い方々に図書館に親しんでもらえるよう今後も取り組んでいきたい。



砂田 喜昭 議員

動画配信中



- ◎上水道料金の値下げについて
- ◎こども医療費の窓口無料化を県外にも拡大を
- ◎コロナ対策で、県によるPCR検査無料化を活用して大規模検査の実施を求める
- ◎高齢難聴者への補聴器補助を
- ◎生理用品の無償配置を

質問 石動高校の通学路が暗い問題で関連質問する。高校生と市議会議員との話し合いの場が出た要望である。しかも、通学路街灯電気を市が負担するルールをつくったことがある。これに答えることで高校生も「政治に訴えれば政治は変わる」となるのではないかと。

市長 その思いをしつかり受け止め庁内で協議したい。

質問 水道料金の基本水量10mを見直してもらいたい。10mも使用しない加入者が3割もいて、月平均使用量は4.8mである。氷見市のように基本水量を8mにするには約1千100万円、平均水量を5mにするには約2千900万円が必要だというが、県水受水費の負担を減らす対応できないか。

産業建設部長 県水受水費の縮減に向けては受水団体4市と協議しながら協議していくが、基本水量の引き下げは経営に与える影響が大きいため、慎重に検討すべきと考えている。

質問 かつて欧州で進めら

れた水道の民営化では、民間企業が莫大な利益を上げる一方、水質の悪化、水道料金の4倍化など惨憺たる状態である。再公営化が進んでいる。ところが、その国際的な水メジャー企業が日本を狙っている。この危険に乗りたくないことが大事だ。

産業建設部長 現状において民営化は考えていない。今後の情報収集に努めたい。

質問 加齢性難聴者に補聴器助成を求める。

民生部長 まずは国・県の制度創設を優先に考え、要望を検討する。独自実施に向けても調査研究したい。

質問 「生理の貧困」に対応して女子トイレや多機能トイレに無償で使える生理用品を配置してもらいたい。

市長 小中学校や公共施設のトイレへの配備の必要性は認識しており、実施に向けて検討に入っていく。



加齢性難聴は、60歳代後半では3人に1人、75歳以上では7割以上の方が難聴になると言われています。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

決算特別委員会

第一に、観光事業については、ユーチューブを利用するなど利便性の向上を図り、さらなる利用促進に取り組むこと。また、観光パンフレットの設置先、配置枚数の減り具合を把握するなど効果を検証し、観光推進に努めること。

第二に、市内にはアートハウス等の文化教育施設が数多くあり、年々維持管理費の増加傾向がみられることから、文化施設の目的に沿って、創意工夫を凝らし適切な維持管理により運営に努めること。

第三に、庁舎整備基金については、各種基金をまとめ整理するなどして、計画的に積み立てるように努めること。

第四に、誕生、結婚祝い事業については、小矢部市への郷土愛がさらに増すようなものを吟味するなど、受け取った方に喜ばれる事業となるよう努めること。

総務産業建設常任委員会

一点目は、企業誘致について、交通

の利便性など本市の強みを活かした物流施設の誘致を含めて、企業立地助成制度並びに税制上の優遇措置を活用しながら、ポストコロナに向けて、より一層積極的に取り組むこと。

二点目は、石動駅周辺駐車場について、利用者のさらなる利便性向上を図るとともに、公共交通の利用促進や環境負荷の低減を図るパークアンドライドの推進を含めて、利活用を検討すること。

三点目は、道路除雪について、昨年大雪の教訓を踏まえ、国・県等とも連携し、万全の体制で除雪に取り組み、市民生活の安全・安心の確保に努めること。

民生文教常任委員会

一点目は、新型コロナウイルスワクチンの三回目接種について、希望する市民すべてが接種できるようにワクチン接種体制を確保するとともに、引き続き感染拡大防止対策に万全を期すること。

二点目は、中学校部活動の地域移行について、市内の県立高校を含めた関係団体と慎重に協議すること。また、生徒の部活動への参加機会の確保と教職員の働き方改革の双方が実現できるように十分検討すること。

議会報告会 ～withコロナ時代を迎えて～ を開催しました。

11月26日に市内4会場で「議会報告会～ withコロナ時代を迎えて～」を開催しました。

市民交流プラザでは19人、総合保健福祉センターでは14人、津沢コミュニティプラザでは19人、東蟹谷公民館では43人、計95人の市民の皆様にご参加いただきました。ご多用のところご来場いただきました皆様方には心から御礼申し上げます。

議会報告会は、議会活動に関する情報を市民の皆様積極的に公開するとともに、市民の皆様の意見を議会活動に反映させるため行っているものです。

議会報告会では、議員から「9月定例会の補正予算の概要」と「新型コロナウイルス感染症緊急対策に係る補正予算の概要・歳入歳出の状況について」を報告したのち、「コロナ対策」について、参加された市民の方々と意見交換を行いました。



「市民交流プラザ」



「東蟹谷公民館」

主なご意見・ご提言・ご質問

- 意見** 3回目のワクチンについても、効率よくスムーズにいくように議会として市当局をどうチェックしていくのでしょうか。これまでの反省を踏まえてやっていくよう検討いただきたい。
- 回答** ワクチン接種に関しては、小矢部市は市長をはじめ職員が力を合わせて、本当によくがんばってもらった。議会としてチェックするのは予算的なことであり、コロナに関する臨時会を昨年何度も行い、その臨時会において議論をしてしっかり精査しています。もちろん、改善すべきところは改善するということで、市当局と議会としても話はしています。
- 意見** コロナ前は議会では地方創生や企業立地などを中心に議論されていましたが、コロナが落ち着いたらこう進めていこうとか、議会ではどういったことを検討されていますか。
- 回答** 今はコロナだからと、小中学校の統廃合問題などコロナ前からの問題を議論していないということは決してありません。市の財政等を鑑み、中長期的な取り組みについて市当局と議会が切磋琢磨して現在も話をしているところです。結論が出るのに、まだ時間がかかると思いますが、市民の生活向上を図る目的を持って、議会としての立場を明確にしていきたいと思います。
- 意見** 農業関係でコロナ対策の補助金を出すという話がありましたが、どのように情報を発信されたのでしょうか。また、農業だけでなく、商業、工業も含めて情報発信をお願いいたします。
- 回答** 誰かが情報をキャッチして流せる体制を作っていかなければならないと思っています。議員も当局や関係機関に「情報はないか」と問い合わせるなど、小矢部市の基幹産業なので、しっかりやっていきたいと思っています。

上記のほか、その他意見として、「GIGAスクール」や「健全化判断比率」、「議会改革」等について貴重なご意見をいただきました。また、当日回収したアンケートにおいても、数多くのご意見をいただきました。

今回いただきましたご意見は、今後の議会活動に取り入れていきたいと考えています。引き続き、皆様方との交流を通じて、議会の機能をさらに高めてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

※当日の資料や報告書、回収したアンケートの集計結果は、小矢部市議会のホームページに掲載しています。



活動報告

議会改革協議会中間報告

●沼田町議会とのオンライン交流会
11月9日に北海道の沼田町議会とオンライン交流会を開催しました。沼田町議会からは議会モニター制度について、小矢部市議会からは議員報酬及び定数について、それぞれ説明を行い、意見交換を実施しました。



●石動高校の生徒との意見交換会

11月10日に石動高校の生徒と市議会議員との意見交換会を開催しました。「10年後の小矢部市がどんなまちだったらいいか」をテーマに生徒と市議会議員が4つのグループに分かれて意見を出しました。



今までの協議結果をまとめた「小矢部市議会改革中間報告書」を12月17日に吉田議長へ提出しました。中間報告書の内容は、小矢部市議会ホームページをご覧ください。なお、最終報告書は令和4年3月定例会にて協議し、議長へ提出する予定です。



録画映像配信のお知らせ

小矢部市議会のホームページでは、より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、本会議の録画映像を配信しています。小矢部市議会のホームページの「議会議中継（本会議録画映像インターネット配信）」をクリックしてください。



会務報告

令和3年9月18日から令和3年12月2日まで

年月日	件名	摘要	開催地
3.10. 5	議会だより編集委員会	・議会だよりNo.203について	第二委員会室
	議会運営委員会	・議会報告会について	
10.11	高岡地区広域圏事務組合議会定例会	・監査委員の選任同意及び令和2年度決算認定について	氷見市
10.13 14 15	決算特別委員会	・付託議案審査 議案第38号及び認定第1号から認定第7号まで	第一委員会室
10.20	全員協議会	・令和3年度市民満足度調査の結果について他1件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・議会だよりNo.203について	第二委員会室
11. 2	地域活性化特別委員会	・空き家バンク活用促進事業について他2件報告	第一委員会室
	民生文教常任委員会	・議会事務事業評価について	
11. 8	公共施設再編特別委員会	・普通財産の状況について他1件報告	第一委員会室
	総務産業建設常任委員会	・令和3年度除雪計画について他1件報告 ・議会事務事業評価について	
11. 9	沼田町議会と小矢部市議会とのオンライン交流会	・議員報酬及び定数について ・議会モニター制度について	第一委員会室

■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
3.11.10	石動高校の生徒と小矢部市議会議員との意見交換会	・「10年後の小矢部市がどんなまちだったらいいか」について	石動高等学校
11.17	議会運営委員会	・11月臨時会提出議案等について	第二委員会室
11.18	全国市議会議長会 社会文教委員会	・要望書(案)及び要望活動について	東京都
11.24	全員協議会	・11月臨時会提出議案等について ・議会事務事業評価報告	第一委員会室
	議会運営委員会	・11月臨時会議案第40号及び議案第41号の発言通告及び採決方法について審議	第二委員会室
	本会議	・11月臨時会議案第40号及び議案第41号について議決	議場
11.26	議会運営委員会	・12月定例会提出議案等について	第二委員会室

■ 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(令和3年9月18日から令和3年12月2日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
3.11.11	富山市議会(タブレット端末等導入検討会)	4	2	・タブレット端末及びペーパーレスシステムを使用した議会運営等について

3月定例会の日程(予定)

- 4日(金) 10時 本会議(提案理由説明)
全員協議会
- 7日(月) 議案調査日
- 8日(火) 議案調査日
- 9日(水) 議案調査日
- 10日(木) 9時 議会運営委員会
10時 本会議(代表・一般質問)
- 11日(金) 10時 本会議(一般質問)
- 14日(月) 10時 予算特別委員会
- 15日(火) 10時 予算特別委員会
- 16日(水) 10時 予算特別委員会
- 17日(木) 10時 地域活性化特別委員会
14時 民生文教常任委員会
- 18日(金) 10時 公共施設再編特別委員会
14時 総務産業建設常任委員会
- 22日(火) 10時 議会改革協議会
- 23日(水) 議案調査日
- 24日(木) 10時 議会運営委員会
委員長会議
13時 全員協議会
15時 本会議(質疑・討論・表決)

※市議会では、市民の皆様のお手配をしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。

※青色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
※予算特別委員会は翌週に再放送予定
※本会議の録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

編集後記

令和3年を振り返ってみますと、コロナで始まりはまだ終息の兆しが見えないコロナ対応に明け暮れた1年でありました。

こうした中で、開催されました東京2020オリンピック・パラリンピックでは、ホッケー競技に本市出身の山下選手・村田和麻選手等の活躍に多くの感動と勇気をいただきました。

さて、議会ではこれまで若年層の意見を聞く機会が少なかったことから、石動高校の生徒と「10年後の小矢部市がどんなまちだったらいいか」をテーマに意見交換会を開催し、若者らしいフレッシュな意見をもらいました。

また、市内4会場で議会報告会を開催し、貴重な意見を多く聞かせていただき、議会としては、いただいた意見を少しでも実現できるように今後も努力してまいります。

(議会だより編集委員 山室記)

次回の「議会だより」は、令和4年5月の予定です。

